

大志を持って三春ダムの課題に立ち向かいましょう

三春ダム管理所長 伊藤 尚敬

2003年、新しい年が始まりました。新しい年を迎えても、閉塞感や不景気感があふれている世の中ではありますが、このような時こそ社会基盤を支える私達が地域の皆さんと力を合わせ、その本領を発揮する時でもあります。大志を持って三春ダムの課題に立ち向かいましょう。三春ダムの今年の課題としては、

- 1.) 水源地域の活性化、上下流連携に向けた水源地域ビジョンの策定
- 2.) よりよい水環境形成のための水質浄化に向けた検討

- 3.) 先進技術の発信基地としての研究とそのアピール
- 4.) ダム管理事業の透明性の確保と説明責任
- 5.) 開かれたダムとして、レクリエーションや環境学習基地としての整備促進と管理の充実

などが挙げられます。

職員が一丸となって、健康で明るく課題解決に努力しましょう。



所長新春インタビュー 新春にあたり今年の抱負などをインタビューしました

編集長 (以下編): 昨年に創刊された「さくら湖管理ニュース」ですが、三春ダムでは他にも「さくら湖だより」などの広報紙を月1回発行しています。これらの広報紙についてはいかがですか。

伊藤所長 (以下伊): さくら湖周辺の自然環境や四季の景観の変化、さくら湖の色々な機能、働く人達と管理の内容などを、これらの広報紙によって地域の方々によく知って頂き、さくら湖が地域の皆さんの共有財産であることを認識して頂きたいと思っております。また、これらの広報紙を通して皆様の色々なご意見をお聞きし、管理業務に反映させていきたいと考えています。

編: “地域の皆さん” といえは「大滝根川流域勉強会」は12月の開催で、第13回目を迎えました。また、三春ダム資料館(企画展)では、地域の皆様から作品を募集しています。それらについてどうお考えですか?

伊: ダムを通じて地域の活性化や、上・下流連携は非常に大切な事です。そのためにはダムと関わりを持つ流域の実態をよく知る事が必要です。皆さんが自分達の住む流域をよく知り、連携してよりよい地域をつくる事が大事だと思っています。資料館についても、たくさんの方々に来て頂いたり、作品の募集などをして今後も地域の皆さんの資料館としていきたいと思っております。

編: ダム管理や技術研究について何かございますか?

伊: 本来のダムの目的を充分発揮できるように、また目的以上の課題についても解決できるようダム管理の充実を図るとともに、技術研究を進め、ダム管理における先進技術の発信基地となれるよう努力したいですね。

編: 2003年が始まりましたが、抱負や夢がありましたら教えてください。

伊: “さくら湖水源地域ビジョン”を策定したい。そしてそのビジョンにより、地域の人と一緒に素晴らしいさくら湖周辺地域づくりをしたいと思っております。

編: ご協力ありがとうございました。



“川をきれいに” 願いを込めて

平成14年度 阿武隈川上流
児童図画コンクール表彰式が
行われました



12月25日(水)、福島市のウェディングエルティにおいて「阿武隈川上流児童図画コンクール」表彰式が行われました。

このコンクールは、阿武隈川上流域39市町村の小学生を対象に毎年実施されているもので今年で12回目の実施となります。今年は、郡山市など21市町村の149の小学校より1,883点の応募があり、その中から厳選された59点の受賞者一人一人に表彰状が手渡されました。

受賞者のうち三春ダム管理所長賞として、図画部門では須賀川市立阿武隈小学校5年の鈴木保貴君が、ポスター部門では二本松市立二本松南小学校3年の古川紗也子さんが入賞しました。おめでとうございます。

三春ダム管理所で初めて電子入札

情報や文書を電子化し、インターネットを活用する事で人件費などのコスト削減と、国民への情報公開・事業者間の公正な競争性向上などをはかる為に、三春ダム管理所では、12月24日(火)初めて電子入札を実施しました。水質保全設備補修工事(機械)の入札で行われ、指名の5社全社が電子入札を行いました。

開札にあたっては、伊藤所長がパソコンのキーボードにより予定価格を入れ、マウス操作により落札業者を決定しました。管理所では今後、出来るだけ電子入札とし、平成15年度は全ての公共事業について電子入札を行う予定です。



『自然』～大滝根川流域の野鳥～

講師 日本野鳥の会 郡山支部
本田 忠治 氏

第13回大滝根川流域勉強会が、12月13日(金)にさくら湖自然観察ステーションで開催されました。

講師の本田氏は、三春ダムの湛水前からさくら湖周辺の野鳥のアドバイザーとして活動されています。



←「昨日の観察では、マガモ、カルガモ、オシドリ、オナガガモが確認されました」と本田氏

「さくら湖周辺の野鳥」、「野鳥の生息条件」というテーマでの講義とビデオ鑑賞をした後、さくら湖周辺を移動しながら観察会が行われました。

さくら湖周辺では、毎年たくさんの鳥類が確認されており、それらは年々多様化しているという事、そしてそれは新しい水面が形成され自然環境が変化したことによるという事、またさくら湖にやってくる数も増えており、特にカモ

類はここ数年で増えている、という事でした。その理由としては、さくら湖周辺は木の実が豊富な混合林が多く、外敵が少ないという事も話されていました。

観察会では、蛇石と中郷橋でマガモとカルガモの群れを、蛇石前ダムではオオバンを確認する事が出来ました。観察会終了後、周辺市町村の鳥やさくら湖のカワウの被害、調査の仕方等も講義して頂き、盛りだくさんの勉強会となりました。



←野鳥観察会の様子
「カモ類がたくさんいますね」

次回の勉強会は、1月17日(金)
テーマは
「大滝根川流域の魚について」です。

シリーズ さくら湖に見えるあれは何？

第3回【係船設備】

「さくら湖に時々浮かんでいる船はどこにしまっているの？」

1. 係船設備とは？

三春ダム管理所は、巡視船及び作業船といっている2艘のボートを保有していますが、固定式の桟橋や係留場は保有していません。なぜなら、ダム貯水池の水位が夏と冬では約8mも異なるため、固定式の桟橋等では、船の係留に支障を来すからです。そこで、常時は船を屋内に格納しつつ、どのような水位の時でも船を水面まで昇降させる設備「係船設備」を所有している訳です。

2. 係船設備は何処にある？

写真(①~③)のとおり、駐車場から三春ダム管理所と資料館の間を歩いて奥にある展望広場の下が艇庫となっています。幅約25m×奥行き約16m×高さ約4mのスペースには、巡視船「さくらこ」及び作業船「大滝根」のボート2艘が移動式台車にのった状態で格納されている他に、係船設備を構成するワイヤーロープウインチ式開閉装置、機側操作盤、移動式桟橋等が設置されています。

3. 係船設備の構造

写真(④~⑦)のとおり、ボートが載っている移動台車と移動式桟橋は、約40度の斜面を2本のレールにのって昇降します。移動式桟橋は、直径38mmのワイヤーロープ2本で吊られており、直径1.3mのドラムをモータにより回転させ、ワイヤーロープを繰り出したり、巻上げたりして、昇降させる仕組みになっています。写真⑧は、上方から撮影したボート着水状況写真です。ボート手前に見える鋼製の構造物が、移動式桟橋です。写真からは見えにくいですが、リモコンコントローラが備え付けられていて、桟橋上からシャッターの開閉、桟橋の昇降操作が行えるようになっています。また、水位検知センサーが備え付けてあるので、ボートが着水すると、自動的に移動式桟橋は停止します。



写真③ 艇庫内部
(トンネルを抜けると、そこは艇庫だったのです。)
写真手前が作業船「大滝根」、奥に見えるのが巡視船「さくらこ」です。



写真④ ワイヤロープウインチ式開閉装置
(写真奥が、ドラム。手前に見えるのが、降台車にのっている巡視船「さくらこ」)



写真⑤ 向山森林公園側から撮影した艇庫外観
(常時は、シャッターを閉めています。)



写真⑥⑦ 移動台車と移動式桟橋が着水するまでの過程(このように、レールにのって降りてきます。)



写真① 展望広場
(写真中央やや左下に、秘密の扉が)



写真② 入口
(いかりにも怪しいですが、勇気を持って中へ進むと…)



写真⑧ 移動式桟橋と巡視船「さくらこ」



管理所員の2003年の抱負は？

- ・見つめようとする。感じようとする。形だけでなく心を見る努力をしたい。(伊藤所長)
- ・健康第一(特に太りに注意)(水質係・佐々木)
- ・娘は早くも小学生。パパも大人にならなくちゃ・・・(電気通信係・西間木)
- ・今年は大厄。体が資本。健康管理を十分に！(管理係・高橋)
- ・今年入院しない年にしたい。(でも正月から風邪でK.O)(水質係・斎藤)
- ・体重5kg減。体脂肪10%台に。がんばるぞ〜っと。(情報連絡員・上石)
- ・今年交通事故をなくし車を大切にすぞ！(情報連絡員・遠藤)
- ・計画をたて、目標のある生活をしたい(水質係・穴戸)
- ・水守りの手助けたらん 余生なお(情報連絡員・村田)
- ・いつも通り、楽しく・・・(庁務員・山浦)
- ・今年勝負の年にすぞ！(電気通信係・大内)
- ・余裕を持った安全運転に心掛けるぞ！(運転員・吉川)
- ・今年こそ“ダイエットする”年にすぞ！(電気通信係・赤石)
- ・今年体鍛えたいと思います。(仕事もちろん？)(総務係・渡辺)
- ・今年こそ“やせる”年にすぞ！(電気通信係・西村)
- ・のんびり過ごしたいです。(総務係・柳内)
- ・自分を磨く1年にしたい。(管理係・菅野)
- ・食後に菓子パンを食べない。(総務係・高階)
- ・健康管理に留意し事故のない安全運転に務める。(運転員・伊東)
- ・ヘルシーMENUを取り入れて、皆さんの健康を守ります。(庁務員・滝波)
- ・良い年になる様に頑張りたいと思います。(管理係・高原)
- ・計画的に仕事を行っていきたいです(管理係・矢倉)
- ・年齢を気にせず(気にさせない?)業務とスポーツ(遊び)全般に頑張るぞ！(管理係・戸村)
- ・今年こそ衝動買い&ムダ使いのない年にしま〜す。(電気通信係・深谷)

ダム資料館からのお知らせ



三春ダム資料館(1F)では「阿武隈川上流児童画コンクール入賞作品展」を開催中。受賞作品59点を2月28日(金)まで展

示しております。また、3月は「毛筆展」を開催する予定です。展覧の締め切りは、2月14日(金)まで。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

(三春ダム管理所 水質係 tel 0247-62-3145)

自然観察ステーションからのお知らせ

1月18日(土)、24日(金)

木星と土星をみよう(星を見る会)

“オリオン大星雲など冬の天体を中心に観察します”

1月19日(日) 水鳥の観察会

“今年の冬もやって来たカモやヒシメなどの

水鳥を中心に観察します”



参加希望の方は、自然観察ステーションまでお問い合わせください

(TEL 0247-61-1546)

編集後記

今年にかける目標はなんといっても健康第一・そしてさらなる肥満防止です。日頃の姿勢や、通勤の影響で腰痛を感じる事がよくあります。さらに不規則な食事で、まさに不健康一直線の状態です。来年の今頃は、「私はこうしてやせた！」という記事を寄稿できるよう頑張りたいと思います。職場の皆さんに一言アンケートを実施しました。年の瀬は抱負が実現出来るように祈りたいものです。

(佐々木)

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を

お待ちしております。

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字

西方字中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145

FAX 0247-62-3170

ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>